

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ウォーリア	Lv.1:		レベル	2
サポートクラス	レンジャー	Lv.1:	レンジャー	性別	男
称号クラス				年齢	16
種族	ヒューリン			境遇	記憶喪失
出自 (効果)	冒険者			目標	憧憬

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	13	10	10	8	8	9	9
ボーナス	4	3	3	2	2	3	3
クラス修正	2	2	1	0	1	0	0
他修正							
能力値	6	5	4	2	3	3	3

HP	45
MP	34
フェイト	6

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ブロードソード	至近	-1	8	0	0	0	-1	0
左手									
頭部	ハット					1			
胸部	クロスアーマー					3			
補助	トラベラーズマント					2			
装身具									
能力値			5	0	4	0	3	7	11
スキル			2						
その他									
総計(右)			6	8					
総計(左)			7	0	4	6	3	6	11
総計(両)									m
ダイス数			2 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	3			3	+ 2 d
トラップ解除	5			5	+ 2 d
危険感知	3			3	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
ロングボウ	
地図	
MPポーション*3	
ポーションホルダー	
ウェポンケース	

現在重量: 1  
 最大重量: 13  
 所持金: 10  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
プロビデンス	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果:	作成時にフェイト+1							
バッシュ	2	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃ダメージ+SLd							
リカバリー	○	3	クロナップ	-	自身	自動成功		
効果:	バステを1つ快復							
セイブアタック	○	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	攻撃命中で、対象のエンゲージから自分以外のキャラを離脱可能							
スピードショット	○	-	パッシヴ	-	自身	-	射撃武器	
効果:	行動修正マイナスを0にする							
ストロングボウ	○	-	アイテム	-	自身	-		
効果:	所持中の弓を選択、それを重量+3攻撃+5する							
コンバットマスタリー	★	-	パッシヴ	-	自身	-		
効果:	武器命中+2							
シュアショット	1	4	マイナー	-	自身	自動成功		
効果:	射撃命中+1d,ダメージ+SL							
スピードアタッカー1	○	フェイト1	セットアップ	-	自身	自動成功	ウォーリア	
効果:	ラウンド持続、行動値&移動力+5							
ウェポンチェンジ	○	4	ムーブ	-	自身	自動成功		
効果:	両手の装備を変更する							
マジカルハーブ	1	-	アイテム	-	自身	-		
効果:	MPポーション*3取得							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

遠近対応の物理系バランス型。明確な魔法系スキルは取らない方針。

平凡ながら、気弱で内気な少年。冒険を続けて行くうちに心身ともに成長していく。

S1.聖暦1004年夏、グランフェルデンに着いた僕は、ひとまず一休みをと一息つけそうな店に入る。そこでレティシアさんとセドリムさん、アキコさんの相席になったんだ。酒場で評判？の腕相撲対決には取えなく負けちゃったけど……次があったら勝ちたいな。え、そのあと？……思い出さないでおこう。翌日、レティシアさんがガーデンマーガレット(ガーデンマレットの言い間違いだったよ……)に行こうと言うので、アキコさんから買った地図で場所を示したら……検討違いの方向へ。どうにか追い付いて、機動修正しつつガーデンマレットまで案内することにしたんだ。店に入って、声をかけてきた女の子。その少女はなんと、王女レティシア本人だった……なんでケーキ屋に居るんですか？奢るから話をしよって引きずられてって、なし崩し的にドラゴン退治することになった……ドラゴンって、ドラゴンって……。着いてから少し経つとドラゴンは眠ってくれたのでそこそこに翼を仕掛けて、矢を射かけることにした。まあ、あっさり破って突っ込んできたけど。危ない目に遭いながらもどうにか討伐を果たした僕たちはお城に招待され、ドラゴン討伐の報酬を貰ったのだった……本当にどうなることかと思ったよ、はあ。